

北京政局ト張作霖ノ活躍 其ノ二(八月十三日奉天機關報)
 武力調停ヲ名トシ奉天軍ノ主力ヲ擧ケテ入關
 セシメ自己ハ靳雲鵬曹汝霖羅開榜等調停者一
 行ノ奉天ヲ俟テ其ノ出發ヲ見合セソツアリ
 シカ張作霖ハ七月二十三日靳雲鵬單獨來奉セ
 ルヲ以テ之ト會見ノ上翌二十四日夕相携ヘテ
 出發シ二十五日午後四時半天津着直隸省長曹
 銳警察廳長楊以德以下數十名ノ出迎ヲ受ケ豫
 テ選定シアリシ天津河北街軍衣莊恒記德ニ入
 レリ
 當時ニ於テル奉天軍ノ配置左ノ如シ

MT 161410 3259

第二十七師 南苑ニ於テ段派軍隊ノ武装解
 除ヲ爲シ且同地附近ノ保安ニ
 任セシメアリ

第二十八師 主力ハ天津北京間京奉線守備
(豐臺)ニ任シ一部ヲ京漢線上ニ
 派遣シアリ

巡閱使衛隊旅 天津山海關間守備(塘沽)
 督軍署衛隊營 主力北京一部天津
 許蘭洲部隊 京漢線長辛店以東

ニシテ總司令部ヲ天津支那公園ニ設置シ總司
 令官張景惠ハ天津ニ在リテ指揮ニ任セリ

MT 161410 3260

奉天ニ於ケル張新兩者會見ノ内容ニ關シテハ
之ヲ窺知スルニ由ナキモ何等具體的意見ノ交
換ナカリシカ如ク張ノ直話スル所ニ依レハ新
雲鵬ハ各省督軍ヨリ國務總理再任ヲ勸告セラ
レアリシモ却テ張ニ之ヲ讓ラントシ張ハ之ヲ
拒絕セリト又出勤直前ニ於ケル彼ノ真意ハ先
ツ自己ノ兵力ヲ以テ京奉線ヲ抑ヘテ地方ノ治
安ヲ維持シ然ル後曹錕ト協議シ大總統ノ意圖
ヲ奉シテ時局ノ解決ニ努力セントスルニアリ
テ概ネ左ノ腹案ヲ有セシカ如シ
一 曩ニ自己ニ危害ヲ加ヘントシタル徐樹錚等

MT

161410

3261

ヲ逮捕シ段祺瑞ニハ相當ノ體面ヲ維持セシ

一 私腹ヲ肥シ外國銀行ニ貯金セル曹錕馬李思
浩朱深ノ三總長ヲ能ク迄追究シ彼等ノ費消
セル國費ハ之ヲ辨償セシメ

一 其ノ他國政ヲ紊セシ者若干名ヲ懲罰ニ附シ
一 靳雲鵬ヲシテ内閣ヲ組織セシメ自己ノ部下
ヨリニ三ノ總長ヲ入閣セシメ

一 副總統ヲ曹錕ニ讓ル

然ルニ二十六日恒記德ニ於テ姜桂題徐邦傑馬
龍標曹錕代理張師長曹銳等ト會見スルニ及ン

MT

161410

3262

テ曹錕代理ノ主張スル所及調停者等ト意見ニ
杆格アリシヲ以テ張ハ本會見ニ於テハ特ニ自
己ノ意見ヲ發表セス一面曹錕ノ來津ヲ促スト
共ニ一面王延斌ヲ使者トシテ北京保定間ノ連
絡ニ任セシメツツアリタリ

逾ヘテ二十八日曹錕ハ保定ヨリ自働車ヲ驅リ
テ來津セシヲ以テ張作霖ハ特ニ自ラ途中迄之
ヲ迎ヘ禮ヲ厚フセシカ爾後屢次曹錕ト會同協
議ヲ重ナルニ及ンテ直隸派ノ背後ニハ容易ニ
拔クヘカラサル歐米ノ勢力アルニト即チ吳佩
孚カ長辛店ニ在リテ大總統ニ要求セリト傳ヘ

MT 161410 3263

ラルル

一 邊防軍西北軍ヲ解散スルコト

二 段祺瑞ヲ幽閉シ其ノ處分ハ國民大會ノ決定
ニ待ツコト

ニ待ツコト

三 徐樹錚曾毓雋丁士源李思浩朱深等ヲ刑罰ニ
處スルコト

ニ待ツコト

四 王揖唐以下安福派重要人物ノ公權ヲ剝奪ス
ルコト

ニ待ツコト

五 新國會ヲ停止スルコト

六 段芝貴傅良佐吳炳湘曹汝霖陸宗輿章宗祥等
ヲ懲罰スルコト

MT 161410 3264

六ヶ條及熾シニ主張セル國民大會開催ノ如
 キ又曹錕ノ天津ニ於テ提出セル
 一安福派ヲ根柢ヨリ剷淨シ餘孽ヲ留メテ後ニ
 累ヲ遺スコトヲナカラシム
 一元首ノ權限ヲ縮少シ責任内閣ヲ建設ス
 一臨時内閣ヲ組織シ人物ヲ選定シテ之ニ充テ
 後正式内閣ヲ作ルコト
 一新國會ハ一先ツ命令ヲ以テ解散セシムヘシ
 一西南各省ニ通電シ政見ヲ求ム
 一副總統ハ之ヲ南方ニ讓ル
 一南北合同ノ上臨時法律制定處ヲ設ク
 一如キハ何レモ歐米人ノ使喉ニ係ルモノナル
 コトヲ感知セリ
 茲ニ於テ張作霖ハ彼等直隸派ノ無謀ナル到底
 事ヲ共ニスルニ足ラサルヲ覺悟シ且思慮ト誠
 意ノ缺如セル彼等カ國政料理ノ任ニ當ルヤ必
 ス歐米人ノ跳梁ヲ牽來シ利己ノ餌ニ釣ラレテ
 安福派以上ニ横暴ヲ逞フスルニ至ルヘク其ノ
 結果トシテ支那ハ遠カラズ再ヒ擾亂ニ陷ルヘ
 キヲ察シ此際寧ロ深ク啞々セサルヲ得策ナリ
 トシ曹ト會見ノ際ニ於テハ今回ノ事一ニ卿ノ
 カキリ予ハ何等希望ヲ具陳スルノ資格ナシ安

MT

161410

3266

MT

161410

3265

福派ノ重要人物處分ハ元ヨリ賛成ナリ然レト
モ唯段祺瑞ハ吾人憂國ノ先輩者ナルカ故ニ彼
カ前功ヲ尊重シ其ノ體面ト餘生ノ安樂トヲ得
ヒシメンコトヲ望ム後繼内閣モ卿ノ希望セラ
ルル靳雲鵬ヲシテ組織セシメテ可ナリ予ノ部
下ヲ入閣セシムルノ件ハ強ラ之ヲ要求セス一
ニ大總統ノ意思ニ從フヘシトテ大ニ謙讓ノ態
度ニ出テ相共ニ十元元ノ罪狀

徐樹錚

安福派ノ首領ニシテ亦今回ノ元

兇ナリ最悪ムヘシ

曾毓雋

安福派ノ首領ニシテ交通部ノ經

五

李思浩

貴ヲ濫用シ同部ヲ紊亂セシメタリ
安福派ノ重要分子ニシテ曾テ國
庫ノ欸六十萬元ヲ安福派ニ融通
セリ

王郅隆

安福派ノ重要分子ニシテ王揖唐
カ和議ノ爲南方ニ赴キシ後安福
派ヲ主持シタルハ彼ノ力多シ

丁士源

安福派ニアラサルモ吳佩孚ノ撤
退ニ方リ京漢線ニ於テ車輛ノ配
給ヲ拒ミ吳ヲシテ不便ヲ感セシ
且今回ハ定國軍ノ交通處長タ

MT 161410 3268

MT 161410 3267

姚國禎

段芝貴

朱深

梁鴻志

姚震

リシヲ以テ重要人物ニ列セシム

安福派ノ重要分子ニシテ交通部

ニアリテ曾ヲ助ケタリ

安福派ニアラサルモ定國軍總司

令タリ

安福派ノ重要分子ナルモ特ニ惡

虐ニアラス大ナル罪ナシ

安福派ノ重要分子ニシテ元參議

院秘書長今回ハ定國軍秘書長タ

リ

安福派ニアラサルモ其ノ行動安

大

福派ト同様ニシテ近クハ曾毓雋

ノ指示ヲ受ケ東三省ノ擾亂ヲ企

圖セリ

ヲ數ヘ前記曹錕ノ意見ト共ニ之ヲ大總統ニ提

出セリ

以上ノ如クニテ張曹ノ天津會議ハ張ノ謙讓ニ

ヨリテ何等ノ波瀾ヲ生スルコトナク終了スル

ヲ得タリ張作霖ノ天津滞在間ハ文武官ノ往訪

者多ク客年滿洲ニ於ケル葛藤ノ相手タル孟恩

遠ノ如キモ特ニ北京ヨリ來津シ治ト毎日ノ如

ク張ヲ訪問セリ其ノ他知己舊知ノ訪問獵官運

MT

161410

3270

MT

161410

3269

勤ノ為來集スルモノ引キモ切ラス彼力出入ノ
警戒送迎ノ熾ナルト其ノ威望ノ隆々タルトハ
天津各界ニ於テハ之ヲ帝王ノ如シト評シ合ヘ
リ

天津ニ於ケル張曹ノ會議ハ如上ノ如キ結果ヲ
以テ終了セルニヨリ張作霖ハ大總統ニ謁見シ
テ其ノ所信ヲ披瀝シ成ルヘク遠ニ手ヲ引キテ
歸奉シ實力ヲ養ヒテ徐ロニ再舉ノ機會ヲ待ツ
ニ決シ一兩日休養シ上八月二日天津各界ノ催
セル奉直軍歡迎宴ニ臨ミ八月三日上京ノ筈ナ
リシカ同日突如吳佩孚ノ來津セルニ遇ヒテ更
ニ

ニ一日ヲ延期シ吳ト單簡ナル會見ヲ遂ケタル
後四日天津發北京ニ向ヘリ奉軍總司令亦之ト
同時ニ北京ニ移駐シ爾來時局收容ノ中心ハ北
京ニ移轉スルニ至レリ

MT

161410

3272

MT

161410

3271

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

三山米問題に付米國の援助を標榜する者
多し。頗る勸め、傾き、是言辭を引用せしむる之等
言ハ既ニ屢々世間ニ傳へし者、其故實に第一
ニ何等新しき印象ヲ與へん關係ナシ云々

(孝方中継八月二十三日午後三、五)

MT 161410 3275

大正九年八月廿四日 接

警務局

第二課

森

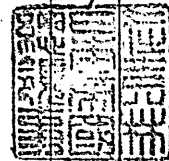
同部

機密第七八號

大正九年八月十七日

在吉林

總領事森田寛茂



外務大臣子爵内田康吉殿

次及注

親日派行動監視ニ関シ報告書件

今回北支那政変ノ結果吉林省ニ於ケル
親日派人物迄意方ノ密令中央政府ヨリ
省長及交渉員ノ許ニ達セタルノ消息
ニ関シハ特電第八四号ヲ以テ及報告置
又要函来該密令ニ依ル條省長ノ態度

在吉林日本帝國總領事館

ハ在リテ排日親米ノ上ニ一層濃厚ノ
色彩ヲ帶ビ近來都下ニ命ジテ親日派ノ
行動監視ニ當ラシメ一面省内安徽出身
者ハ安徽派所屬ノ官吏ヲ免職セシメ
中央直隸派ノ鼻息ヲ窺ヒテ攻テ一時危
ニシタル自己ノ地位擁護ノ策ニ出テトシ居
ルモノ、如ク之レガ爲メ從來頻々出
入スル日本留學生中男者モ来彼ヲ誘
ル有様多同人事ノ言ニ依リハ最近亦二回
密令中央ヨリ到達シ徐有長ハ頗ル得意
トナリ各機關ニ於ケル系統所屬ニ就キ内
密調査並リ中ニテ後來日本ニ好感ヲ
有セシ一般人士加此際多少ノ恐慌ヲ来シ

(大正小林及七支店印行)

MT

161410

3277

MT

161410

3276

居ハ事ノ實ナルカ如シ
右ノ知、僑民ノ意見及報告候
本信厚達付先在在云云候

在吉林日本帝國總領事館

(大連小森又七文庫印行)

MT

161410

3278

REEL No. 1-0692

0404

大正九年八月廿四日 接受 一 警務局

第二課

森

(岡部)

機密 第二〇號

(龜井)

大正九年八月十八日

在天津

總領事

船津辰一郎

外務大臣子爵内田康哉殿

授受10861部

保定ニ於ケル支那官憲ノ日本人ニ對スル
態度ニ関スル件

保定醫學專門學校ニ傭聘セラレ居ル今福醫學士
カ暑中休暇ノ爲帰朝ノ途次當地通過ノ際小官ニ語
リタル所ニヨレハ去月直隸安徽兩軍愈兵火ヲ交ヘト
スルヤ保定ニ於ケル日本人即チ今福醫學士及文房具

在天津日本總領事館

高宮崎某ニ對スル支那官憲ノ注意中々嚴重トナリ
外人保護ノ口實ノ下ニ常ニ巡警ヲ派シテ一挙一動ヲ監視
シ(保定ニ於ケル支那側ノ軍機ヲ外部ニ漏スベトヲ恐レタ
ルニ非ヤト察セラルトナリ)殆ト敵國人ニ對スル如
キ態度ニテ信書電信ノ如キ一々檢閲ヲ爲シ又當時ハ
安徽軍ニハ多數ノ日本人アリトカ或ハ今回若シ安徽
軍勝タバ且即日本ノ勝利ニテ支那ハ遂ニ朝鮮ノ
覆轍ヲ蹈ムニ至ルベシト極力排日ノ宣傳ニ努メ平素怨
意大支那人モ可成日本人ト往來スルヲ避ケ米國人ノ如キ
自働車ニテ保定天津間ヲ自由ニ往復シ居ルニ拘ハラス
今福醫學士カ便乗ヲ頼メハ素氣ナク拒絶サル等飽
占日本人ニ對シ冷酷ナル模様ナリシモ愈直隸軍勝利
ヲ占メ安徽軍没落スルヤ最近ニ至リ排日ノ氣勢稍

MT

161410

3280

MT

161410

3279

緩和セラレタル模様アリトノコトニ有之ニ及シ保定ニ於
ケル支那官民ノ米國人ニ對スル態度ハ實ニ親好的ニシ
テ有ラズル好意ヲ表シ居ル由又安直兩軍交戦中或
ル米國人ハ保定天津間ヲ常ニ往來シ直隸派ニ對シ種
々ノ便宜ト援助ヲ與ヘタリトノ説アルモ其確否ハ保証シ
難シトノコトニ有之候

本信寫送付先 在支公使

在天津日本總領事館

MT

161410

3281

TELEGRAPHIC ADDRESS:

TOKIO, "KAOMOO"
SHANGHAI, "KOHSHO"
HANKOW, "KOHSHO"

社會名合木高

CODES USED:

BENTLEY'S COMPLETE PHRASE
A.B.C. 5TH EDITION

大正九年八月廿七日

改第九號 張內務總長、聲明

一、現政府ト目支提撥

今次政変ニ由リ日本官民共ニ失意ノ態度ヲ表示サルハ遺憾ニ勝ヘズ尤モ今次、政変ハ從來親日專賣ト目セラル一團ヲ排除シ盡シタルニ由リ一部日本人ヲ現政府(新政府)ト見バ(見如何モ排日政府親米政府ト思ハレサルニモ非カルベキ也斯ハ又甚クシキ誤解ニシテ一失ハ予政府ヲ代表シテ斷言スルモ不可ナキ事ナシ、予見ル所ヲセバ一部政治家軍人實業家等ハ其關係深カリシ對手ノ没落シ連絡遂ニ断絶スル止チキニ至リシ爲メ殊更ニ新政府ヲ排日派親米派

東京市麹町區有樂町壹丁目壹番地

電話九ノ内 二二〇九番(特)
一六四七番 一六四八番

MT

161410

3283

TELEGRAPHIC ADDRESS:

TOKIO, "KAOMOO"
SHANGHAI, "KOHSHO"
HANKOW, "KOHSHO"

社會名合木高

CODES USED:

BENTLEY'S COMPLETE PHRASE
A.B.C. 5TH EDITION

大正九年八月廿四日

外務省

木村銳市様

拜啓 昨、中法系本質候

陳君張内務總長、吉田ト題シ別紙寫、同、本日北京駐在員ヨリ來狀有之候間、中参考迄ニ中報告申上候

敬具

東京市麹町區有樂町壹丁目壹番地

電話九ノ内 二二〇九番(特)
一六四七番 一六四八番

MT

161410

3282

TELEGRAPHIC ADDRESS:

TOKIO, "KAOMOO"
SHANGHAI, "KOHSHO"
HANKOW, "KOHSHO"

社會名合木高

CODES USED:

BENTLEY'S COMPLETE PHRASE
A.B.C. 5TH EDITION

大正 年 月 日 寫

ルニ非ズシテ國家自身ノ休戚ヲ根底トシテ確立
セラルナリ、故ニ人亡ハモ國家其物ノ存立關係未
ク變化シ及ボササル以上其政治方針迄變更
スルノ必要ナレ即チ改派ハ亡ニハ然ルニ日支親
善ノ政策ハ人々モ亦旧シ如シト
惟ハ從來ハ日支親善日支提携ノ仲介ハ曹陸
章三名ノ專賣特許ナルカ、如キ觀アリシハ事
實ナリ、然レハ此專賣權ノミハ人々次ノ改派ニ依
リ根底ヲ覆滅セラレリ、但シ日本ノ識者ハ
依然曹陸章三名ヲサレハカウスト確信セバ從來
通り三名ヲ利用サルニ充テラレモ之ガ成功スベキヤ
否ヤハ保證セズ

東京市麹町區有樂町壹丁目壹番地
電話九ノ内 一〇〇九番 (特長)
一六四七番 一六四八番

MT 161410 3285

TELEGRAPHIC ADDRESS:

TOKIO, "KAOMOO"
SHANGHAI, "KOHSHO"
HANKOW, "KOHSHO"

社會名合木高

CODES USED:

BENTLEY'S COMPLETE PHRASE
A.B.C. 5TH EDITION

大正 年 月 日 寫

ナルカ、如ク吹聴レ以テ日本國民ノ反感ヲ挑發シツ
アル者少カラカルヤと思ハルナリ蓋シ此等ノ政治家
軍人實業家等ハ自己個人ノ立場ヨリシテ斯カル
態度ニ出ヅルハ之レ又人間ノ通患トモ稱スベキナルモ
酷評ヲ加ヘ難シト雖モ日本國民ノ大多數並ニ日本
政府ノ當路者迄カ斯ク誤解サレハ甚ク迷惑ナリ
予ハ今一個ノ國員トシテ責任ヲ以テテノ數語ヲ斷言ス
日本國民多數ノ斯ク信ジテ即國民多數ニ然カシ
目シタル所謂改派ハ没落シタリ然ルニ政府ハ執ルベ
キ日支親善ノ政策ハ變更セズ、由來新内閣
及對一部日支人ハ改派亡ビタルヲ以テ親日亦隨フ
ラセツベシト爲セトモ政策ハ人々中心トシテ作ラレタ

東京市麹町區有樂町壹丁目壹番地
電話九ノ内 一〇〇九番 (特長)
一六四七番 一六四八番

MT 161410 3284

政

大臣

電信課長

次官法

政務

通商

條約

報

人事

會計

文書

條約實施

一二四九九
平

此系卷
 太倉九年八月
 二十日
 二十日
 二十日

本

内閣外務大臣

小幡公使

第八五號

此系新成德月令八月二十日附戒嚴解院

掃部ナナセリ

慈母の矢し

23

MT

161410

3286

情報部

4286

附屬書類添付

館事領總本日海上存 5142號

大正九年八月十九日	公領第 五七號	在上海	總領事 山崎 馨	外務大臣子爵 內田 康 哉 殿	大正九年八月十九日 在 支 公 使 宛 公 信 寫 送 付	外蒙古ニ獨立國建設ノ陰謀ニ關スル新聞切抜送付ノ件
-----------	---------	-----	----------	-----------------	-------------------------------	--------------------------

大正九年八月廿五日接受

第二課

別紙添付

別紙添付

MT 161410 3287

REEL No. 1-0692

0410

公領第一〇七號

大正九年八月十九日

在上海

總領事 山崎 肇一

在支

特命全權公使 小幡 西吉 殿

外蒙古ニ獨立國建設ノ陰謀ニ關スル新聞切拔送付ノ件

八月十九日發行 China Press 紙ハ其出處ヲ記載セスシテ大要左ノ如キ記事ヲ掲載致居候

七月十八日及十九日小幡公使ト東京外務省トノ間ニ往復シタル秘密電信發見セラレタルカ同電信ニ依レハ日本公使ハ東京政府ニ對シ現ニ公使館ニ庇護セラレ居ル罪魁參百萬圓ト日本武器ヲ供給シテ支那本部侵略ノ基礎ヲ作ランカ爲メ外蒙古ニ獨立國ヲ建設セントス又日本ハ曹汝霖、陸宗輿ト協力シ東清鐵道總辦ニ General Horvath ヲ復職セシメントシツツアリ云々

在上海日本總領事館

MT

161410

3288

右ハ同日發行中華新報所載國聞社十五日發北京通信(中華新報ハ日本ト明記セス某國ト記載セリ)ト内容同一ニ有之尙同日發行新聞報及八月十八日發行時事新報モ某國ト記載シ右通信内容ヲ掲載致居リ候ニ付別紙切拔添付此段及報告候 敬具

本信寫送付先 外務大臣

在上海日本總領事館

MT

161410

3289

<http://www.iacar.go.jp>

大正九年八月廿五日 接獲

陸軍省

第二課

陸軍省

少佐

秘

初段10885

要旨

外務省

電報
宛在
佐藤少佐
八月二十四日
八月二十四日午後九時三十分發

上海電一四三

政學會領袖張耀曾谷鍾秀等二十八名ハ二十日附連名ニテ政學會ヲ解散シ根本的政黨ノ基礎ヲ計ル旨長文ノ宣言者ヲ發セリ(時一事報失知照)抑モ政學會ハ前清朱孫文等ノ急進派ニ對シテ成立ル國民黨ノ漸進派ニシテ爾來南北分立の間両派ニ調法カラレ居リ之ヲ安福派成立後極力該派ニ反對シ北ニ安福派下南ニ政學會アリト稱セラレ一般リ厄介ノ現セラ

陸軍

レアリシカ人々や安福派列レ新國會ノ思ハルモ且タニ迫リタル際政學會ナル組織ノ存在ハ抑而多量ノ領袖等ノ輿論運動ニ對シテリトレ法第義ヲ有シ實力派ト見漢ノ更セシメタルモノナリト一般ニ觀察セラル

七乃ス

MT 161410 3293

MT 161410 3292